

第3章 操作手順

3.1 電源スイッチと操作パネル

この項では、電源スイッチと操作パネル上の各スイッチの取り扱い方法、およびランプの意味について述べます。

電源スイッチ

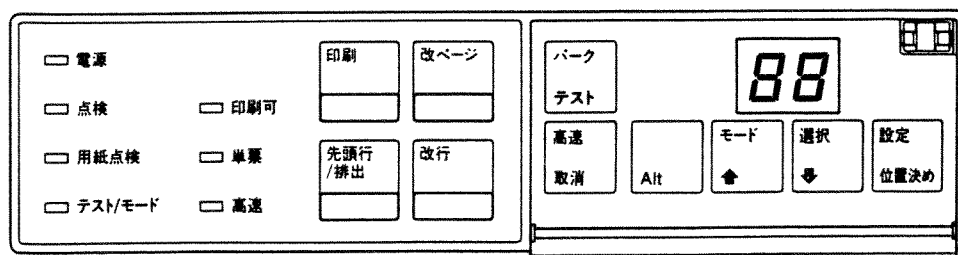
(I)側に倒すと電源が入り、プリンターの初期診断テスト(「付録 C. 自己診断機能」参照)が行われ、すべてのランプがつき、電源ランプ(緑色)以外は一度消え、再度すべてのランプがつきます。状況コード「88」が表示され、初期診断テストが実行された後、用紙切り替えレバーが「連続紙」にセットされていれば、連続用紙が先頭行位置まで送られます。また、単票モードが設定されていれば、単票ランプが点灯します。その後、印刷可ランプ(緑色)がつき印刷可状態になります。

注) プリンターの用紙切り替えレバーが「連続紙」にセットされていて、用紙がセットされていない場合、印刷可ランプはつかずに、用紙点検ランプがつきます。

初期診断テストで異常が発見された場合、点検ランプが点灯し状況コードが表示され、異常の内容を知らせます。この場合、「第4章 プリンターの診断」を参照してください。

(O)側に倒すと電源は切れ、操作パネル上のランプはすべて消えます。

操作パネル上のスイッチ



以下に操作パネル上のスイッチの基本的な取り扱いを説明します。

注) 印刷可状態(下記参照)では、印刷スイッチと先頭行/排出スイッチ以外のスイッチは機能しません。

プリンターがエラー状態のときには、「第4章 プリンターの診断」を参照してエラーを回復してから操作をしてください。

印刷スイッチ

印刷可状態（印刷可ランプが点灯している）と印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）とを切り替えます。

- 印刷可状態のとき、このスイッチを押すと、印刷可ランプが消え、印刷不可状態になります。
注) 印刷をしているときは、現在印刷中の行を印刷し終えた後、印刷不可状態になります。
- 印刷不可状態のときに、このスイッチを押すと、印刷可ランプがつき印刷可状態になります。
- 先頭行/排出スイッチが押されて連続用紙のミシン目が切り取り位置にあるとき、このスイッチを押すと、先頭行位置に用紙が戻ります。
- 連続してブザーが鳴っているとき、このスイッチを押すとブザーが停止します。
- 連続用紙に印字中、用紙点検ランプが点灯して印刷が中断しているとき、このスイッチを押すとブザーが停止し、1行印刷して再び印刷不可状態になります。繰り返しこのスイッチを押して、論理ページの最終印字位置まで印刷することができます。

注) 上部カバーや後部カバーが開いているとき、このスイッチを押しても印刷可状態にはなりません。

先頭行/排出スイッチ

- 連続用紙モードのとき、
 - － 用紙先端がトラクターの位置にあるとき、このスイッチを押すと用紙が先頭行位置まで送られます。
 - － 用紙が吸入されているとき、このスイッチを押すと用紙のミシン目が切り取り位置（カッターがついています）まで排出されます。
 - － 用紙先端のミシン目が切り取り位置にあるとき、このスイッチを押すと用紙が先頭行位置まで戻ります。

- 単票モードのとき
 - － 用紙を吸入します。
 - － 既に吸入されている用紙があれば、その用紙を排出します。

- 注) 1. 印字中、データ受信または上部カバーや後部カバーが開いている状態、およびオプションの連続用紙送り機構が装着されているときは、このスイッチは機能しません。
2. プリンターに初期設定または制御コードによって設定されているページ長と、実際に使用している用紙のページ長が異なると、切り取り位置とミシン目が合いません。
3. オプションの自動給紙機構を装着している状態で連続用紙モードのときは、カッターがついていないので、手でミシン目を切り離してください。

改ページ・スイッチ

- 連続用紙モードのとき
 - － 次ページの先頭行位置まで用紙が送られます。出荷時にはページ長が11インチに設定されています。

注) ページ長は、初期設定または制御コードによって変更することができます。（制御コードでは初期設定値は変更されません。）

 - － 先頭行/排出スイッチが押されてミシン目が切り取り位置にあるとき、このスイッチを押すと、次ページのミシン目が切り取り位置まで送られます。

- 単票モードのとき
 - － 既に吸入されている用紙があれば、その用紙を排出します。

- 自動給紙モードのとき（自動給紙機構を使用している場合）
 - － 用紙を吸入します。
 - － 既に吸入されている用紙があれば、その用紙を排出し、次の用紙を吸入します。

- 注) 1. 印刷不可状態でのみ機能します。
2. 上部カバーや後部カバーが開いている状態では操作できません。
3. 16進印字モードのとき、このスイッチを押すと、プリンターのバッファ中のデータをすべて印字してから改ページします。

改行スイッチ

このスイッチを押すと、1回押すごとに用紙を1行分送ります。1秒以上押し続けると、押ししている間、連続的に用紙を送ります。

- 注) 1. 印刷不可状態でのみ機能します。
2. 上部カバーや後部カバーが開いている状態では連続的に用紙を送ることはできません。
3. 単票の場合、最終印字位置を越えて行送りされると、用紙を排出します。

先頭行/排出スイッチが押されて連続用紙のミシン目が切り取り位置にあるときもこのスイッチは有効です。このスイッチを押した後も、先頭行/排出スイッチを押すと連続用紙は先頭位置に戻ります。

パーク・スイッチ

連続用紙モードのとき、用紙をトラクターの位置まで引き戻します。
このスイッチが押されると、単票ランプが点滅し、用紙点検ランプが点灯して、先頭行/排出スイッチ以外のスイッチは機能しません。

- 注) 1. 印刷不可状態でのみ機能します。
2. 上部カバーや後部カバーが開いている状態では操作できません。
3. オプションの連続用紙送り機構が装着されているときは機能しません。

高速スイッチ

印刷不可状態のときに、高速印刷モード（高速ランプが点灯している）と通常速印刷モード（高速ランプが消えている）を切り替えます。

このスイッチで高速印刷が設定されている場合、制御コードによって設定された印刷速度にかかわらず、すべて高速で印刷されます。

通常速印刷モードが設定されている場合、制御コードによって設定された印刷速度で印刷されます。

印刷途中で印刷を中断し、印刷モードを切り替えた場合、印刷再開後の最初の行が、以前の印刷モードで印刷されることがあります。

モード・スイッチ

初期設定、罫線調整、テストにおける各機能のモード番号を選択します。

押されるたびにカウント・アップされた英数字が表示されます。
Alt スイッチとともに押されると、カウント・ダウンされた英数字が表示されます。

印刷不可状態のときに、このスイッチを押しながら設定スイッチを1秒以上押し続けると16進印字モードになります。

このスイッチを押しながら電源を入れると、罫線調整モードになります。（罫線調整モードについては、「付録 B. 初期設定操作と罫線調整」を参照してください。）

選択スイッチ

初期設定、罫線調整、テストにおける各機能の選択番号を選択します。

押されるたびにカウント・アップされた英数字が表示されます。

Alt スイッチとともに押されると、カウント・ダウンされた英数字が表示されます。

このスイッチを押しながら電源を入れると、初期設定モードになります。(初期設定モードについては、「付録 B. 初期設定操作と罫線調整」を参照してください。)

設定スイッチ

モード・スイッチと選択スイッチによって選択された値が、プリンター内部にある設定値保持用の記憶域に書き込まれます。

印刷不可状態で、機能モードが初期設定、罫線調整、テストのいずれかになっているときに動作します。

印刷不可状態のときに、モード・スイッチを押しながらこのスイッチを1秒以上押し続けると16進印字モードになります。(16進印字モードについては、「付録 C. 自己診断機能」を参照してください。)

Alt スイッチ

各スイッチの下側に書かれている機能を使用するために使います。印刷不可状態でこのスイッチを押したまま、他の各スイッチを押してください。

テスト・スイッチ (Alt を押したままパーク・スイッチ)

印刷不可状態のときに、Alt スイッチを押したままパーク・スイッチを押すと、印字テスト・モードになります。(印字テスト・モードについては、「付録 C. 自己診断機能」を参照してください。)

取消スイッチ (Alt を押したまま高速スイッチ)

印刷不可状態のときに、Alt スイッチを押したまま高速スイッチを押すと、システム・ユニットへ印刷取り消しの要求を出します。

注) 実際に印刷が取り消されるかどうかは、使用しているソフトウェアによって異なります。

また印字テスト・モード、16進印字モード、初期設定モード、罫線調整モードを解除する場合にも使用されます。

↑スイッチ (Alt を押したままモード・スイッチ)

1 回押すと用紙が 0.42 mm (1/60 インチ) 順方向に送られます。1 秒以上押し続けると連続的に用紙を送ります。位置決めスイッチを押さないかぎり、プラテン・ノブによる手動紙送り動作と同様の効果をもたらします。

注) 1. 単票モードのとき最終印字位置を超えてこのスイッチが押されると用紙が排出されます。

2. 印字中は、このスイッチは機能しません。

↓スイッチ (Alt を押したまま選択スイッチ)

1 回押すと用紙が 0.42 mm (1/60 インチ) 逆方向に送られます。1 秒以上押し続けると連続的に用紙を送ります。位置決めスイッチを押さないかぎり、プラテン・ノブによる手動紙送り動作と同様の効果をもたらします。

注) 1. 単票モードのとき用紙の上端から約6.4mm (1/4 インチ) より上 (逆方向) には用紙を送りません。

2. 印字中は、このスイッチは機能しません。

位置決めスイッチ (Alt を押したまま設定スイッチ)

このスイッチが押されたときの現在行の位置を、用紙の先頭行位置として記憶します。連続用紙の先頭行位置と単票の先頭行位置は、それぞれ別々に記憶されます。

連続用紙モードで、先頭行/排出スイッチを押して用紙のミシン目を切り取り位置に合わせ、位置決めスイッチを押すと、その位置をミシン目位置として記憶します。ミシン目位置は先頭行位置とは別に記憶されます。この値は電源を切った後も保持されます。

用紙がセットされていないときに位置決めスイッチを押すと、先頭行位置が用紙先端から連続用紙の場合 約25.4mm、単票の場合約 24.5mm の位置に設定されます。

操作パネル上のランプ

以下にランプの示す意味について説明します。初期診断テスト時およびエラー状態でのランプの示す意味については、それぞれ「付録 C. 自己診断機能」および「第 4 章 プリンターの診断」を参照してください。

電源ランプ (緑色)

プリンターに電源が入っているときに点灯します。

点検ランプ (黄色)

プリンターに何らかの問題があるときに点灯します。

このランプが点灯している場合、状況コードによってその内容が表示されます。

詳しくは「第 4 章 プリンターの診断」「付録 C. 自己診断機能」の項を参照してください。

用紙点検ランプ (黄色)

プリンターが用紙切れ状態にあるとき点灯します。

用紙を新たにセットし、印刷開始位置まで吸入すると、このランプは消えます。

印刷可ランプ (緑色)

印刷可状態のときこのランプがつき、プリンターはシステム・ユニットからデータが送られて来れば印刷できる状態です。印刷不可状態のときは消えています。

先頭行/排出スイッチが押されて、連続用紙のミシン目が切り取り位置にあるとき、このランプが点滅します。

テスト/モード・ランプ (黄色)

プリンターが、初期設定、罫線調整、テスト、16進印字モードのいずれかに選択されている状態のときに点灯します。

単票ランプ (緑色)

用紙切り替えレバーが単票側にセットされている場合に点灯します。

連続用紙モードの場合は消えています。

パーク・スイッチが押されて連続用紙がトラクター位置に引き戻されると、このランプが点滅します。

高速ランプ (緑色)

印刷モードが高速印刷モードのときに点灯します。

16進印字モードが設定されたときは、このランプとテスト/モード・ランプがつかま

ANR（状況表示器）

プリンターの状態を示すコードが表示されます。

表示される状況コードの意味は、下表を参照してください。

ANR 状況コード一覧表

状況コード	診 断	意 味	備 考
01	エラー	用紙づまり	
03	エラー	用紙切り替えレバーの誤操作	
05	エラー	上部カバーまたは後部カバーが開いている	
06	エラー	プリンター内部に用紙を残したまま、電源を切らずにオプション機構を着脱した	
07	エラー	受信したデータに誤りがある	
0F	正常	16進印字中	正常です 処置は要りません
88	正常	初期診断テスト中	
31	故障	プリンターの内部回路の異常	
32	故障	プリンターの内部回路の異常	
33	故障	プリンターの内部回路の異常	
34	故障	電圧の異常	
36	故障	プリンターの記憶域の異常	
37	エラーまたは故障	キャリアーの動作異常、または用紙づまりなどによるキャリアーの動作異常	
38	故障	操作パネルのスイッチの異常	
3A	故障	内蔵フォントの異常	
3F	故障	プリンターの内部回路の異常	

ブザー

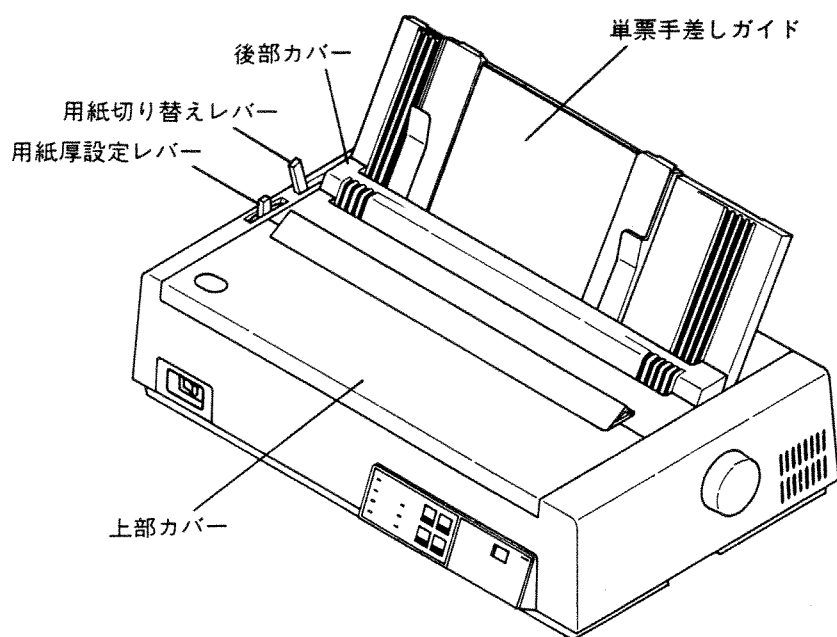
次の状態のとき断続的にブザーが鳴って知らせます。

- 印字中にカバーが開いた。（カバー開放状態）
- 用紙がなくなった。（用紙切れ）
- プリンターのエラーや故障が発見された。

注) ブザーを止めるためには印刷スイッチを押してください。初期設定機能によりブザーが鳴らないようにすることもできます。

ただし、状況コード「3X」（X は英数字）が表示されているときには、初期設定値にかかわらずブザーが鳴ります。

3.2 プリンター本体各部の名称と機能



上部カバー

プリンター上部に手前側に開けることができる上部カバーがあります。リボンを交換するときは開けてください。

印刷開始時には必ず閉じておいてください。

上部カバーが開いている間は印刷スイッチを押しても印刷可状態になりません。

印刷中に上部カバーを開けると、ブザーが鳴り、印刷を中断します。このときカバーを閉じ、印刷スイッチを押すと再び印刷を開始します。

後部カバー

プリンター後部に後ろ側に開けることができる後部カバーがあります。連続用紙をセットするときは開けてください。

印刷開始時には必ず閉じておいてください。

後部カバーが開いている間は印刷スイッチを押しても印刷可状態になりません。

印刷中に後部カバーを開けると、ブザーが鳴り、印刷を中断します。このときカバーを閉じ、印刷スイッチを押すと再び印刷を開始します。

自動給紙機構や、連続用紙送り機構を取り付ける場合は後部カバーを取り外してください。

単票手差しガイド

単票手差しガイドを上部カバーの後方から差し込んで使用してください。
単票に印刷するときは、この単票手差しガイドを立てて使用し、連続用紙に印刷するときは、水平に倒して使用します。

自動給紙機構や、連続用紙送り機構を取り付ける場合は単票手差しガイドと後部カバーを取り外してください。

用紙切り替えレバー

用紙切り替えレバーはプリンターの左側後方にあります。
用紙切り替えレバーを後方の「連続紙」側に倒すと用紙を自由に手で動かすことができます。

単票を使用する場合、前方の「単票」側にセットして使用します。

連続用紙を使用する場合、後方の「連続紙」側にセットして使用します。

用紙モードを切り替える場合、必ず用紙を排出またはパークしてからレバーを動かしてください。

用紙がセットされている状態でこの用紙切り替えレバーを動かすと、ブザーが鳴り、状況コード「03」が表示され、プリンターの操作ができなくなります。

用紙厚設定レバー

用紙厚設定レバーはプリンターの左側前方にあります。

プラテンに近い奥から手前に向かって1から・まで6段階あり、用紙厚設定レバーを一番奥の1にセットすると、印字ヘッドとプラテンの間隔が最小に、レバーを一番手前の・（6段目）にセットすると、最大になるようになっています。
ただし・（6段目）は通常使用しません。

注) 用紙厚設定レバーの位置は、「3.7 用紙厚調整の仕方」を参照してください。

内蔵トラクター

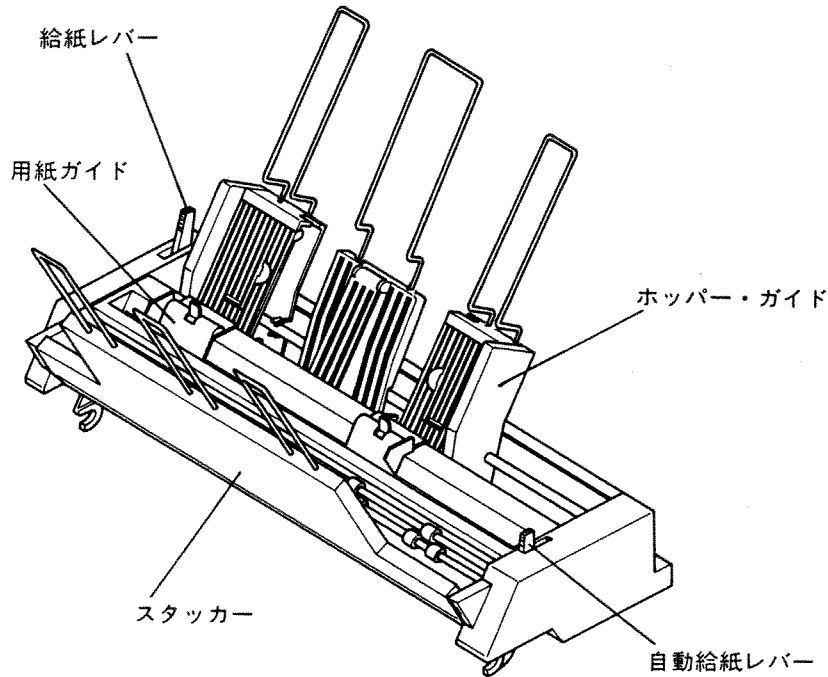
連続用紙のスプロケット孔（用紙の左右両側に空いている穴）を利用して、連続用紙を送ります。

複葉紙はオプションの連続用紙送り機構を使用してください。

3.3 自動給紙機構各部の名称と機能

IBM 5575-H02 印刷装置には、オプションで自動給紙機構を取り付けることができます。

この自動給紙機構は、吸入用ホッパーと、排出された印刷済みの用紙を納めるスタッカーを持っています。



ホッパー・ガイド

自動給紙モードのとき、このホッパー・ガイドの間に単票を重ねて入れておきます。

このホッパーに入れる用紙は、十分さばいて1枚ずつ送りやすいようにしてから、きちんと上下左右を揃えて入れてください。(赤線を超えて用紙をセットしないようにしてください。)

ホッパー・ガイドは左右に移動させることができます。
使用する用紙に合わせて移動させてください。

スタッカー

印刷の終わった用紙がこのスタッカーに印刷された順に収容されます。
連続用紙に印刷するときは、このスタッカーを持ち上げながら前に倒して使用します。

給紙レバー

用紙をホッパーにセットするときに使用します。

自動給紙レバー

自動給紙モードと手差し/連続用紙モードの切り替えを行います。
このレバーを手前に引くと、自動給紙機構を取り付けたままで、単票を手差しで給紙したり、連続用紙を使用することができます。

注) A3横長や、単票複葉紙は自動給紙モードでは使用できません。手差しモードでお使いください。

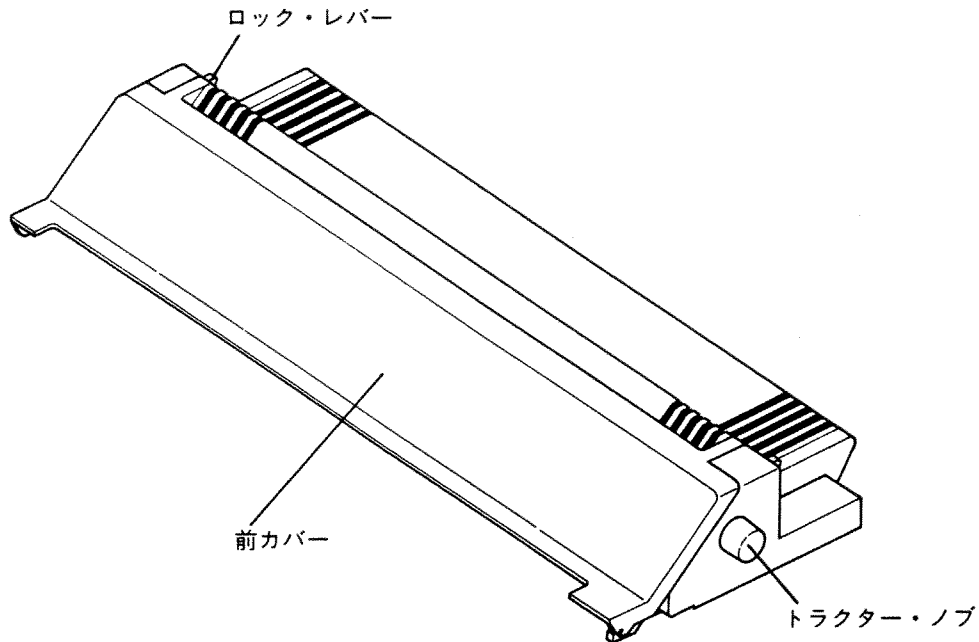
用紙ガイド

単票手差しモードのとき、この用紙ガイドの間から単票を入れます。

用紙ガイドは左右に移動させることができます。
使用する用紙に合わせて移動させてください。

3.4 連続用紙送り機構各部の名称と機能

IBM 5575-H02 印刷装置には、オプションで連続用紙送り機構を取り付けることができます。



トラクター・ノブ

連続用紙送り機構と内蔵トラクターを使用する、プッシュ/プル・フィードの場合、押しながら時計方向に回すことにより紙のたわみを取り、適正にはるために使用します。

両側紙ホチキス紙はボトム・フィードで使用してください。

前カバー

連続用紙送り機構のトラクターを保護します。

印刷開始時には必ず閉じておいてください。

前カバーが開いている間は印刷スイッチを押しても印刷可状態にはなりません。

印刷中に前カバーを開けると、ブザーが鳴り、印刷を中断します。このときカバーを閉じ、印刷スイッチを押すと再び印刷を開始します。

ロック・レバー

連続用紙送り機構の固定を解除するレバーです。連続用紙送り機構を取り外すときは、このレバーを左右同時に押したまま、持ち上げます。